

市立図書館は「情報・文化・芸術の発信拠点」として 複合施設に生まれ変わります

平成15年に開館した市立図書館は、図書館機能に加えて、新たに情報・文化・芸術の発信拠点として、生涯学習機能（文化・芸術）を融合し、また、それぞれの機能をつなぐ場を創設し、複合施設として再出発します。

1 新たな複合施設の概要

図書館を新たな学びにより市民の主体的な活動の場とするため、図書館の領域を超えた情報・文化・芸術などミュージアム的な機能を融合させた複合施設とします。

2 新たな複合施設のコンテンツ

○図書館機能の充実

子育て支援、保育、幼児教育、児童発達支援などを行える「親子読書支援コンシェルジュ」を配置し、保護者の読書支援や乳幼児期から本に親しむ機会を創出します。

○生涯学習機能の付加

市民ギャラリーを設置し、次世代を担う芸術家等の作品展示や千葉県立美術館との連携などにより、芸術作品と直接触れ合う機会を創出します。

○機能をつなぐ場の創設

- 図書館機能と生涯学習機能をつなぐため、「交流の庭」や「テラス」は市民の憩いの場として活用します。
- 市民から多くの要望がある「軽食の提供（caffe）」については、社会福祉法人等の協力を得て、新たに開設します。

3 新たな複合施設として供用を開始する時期

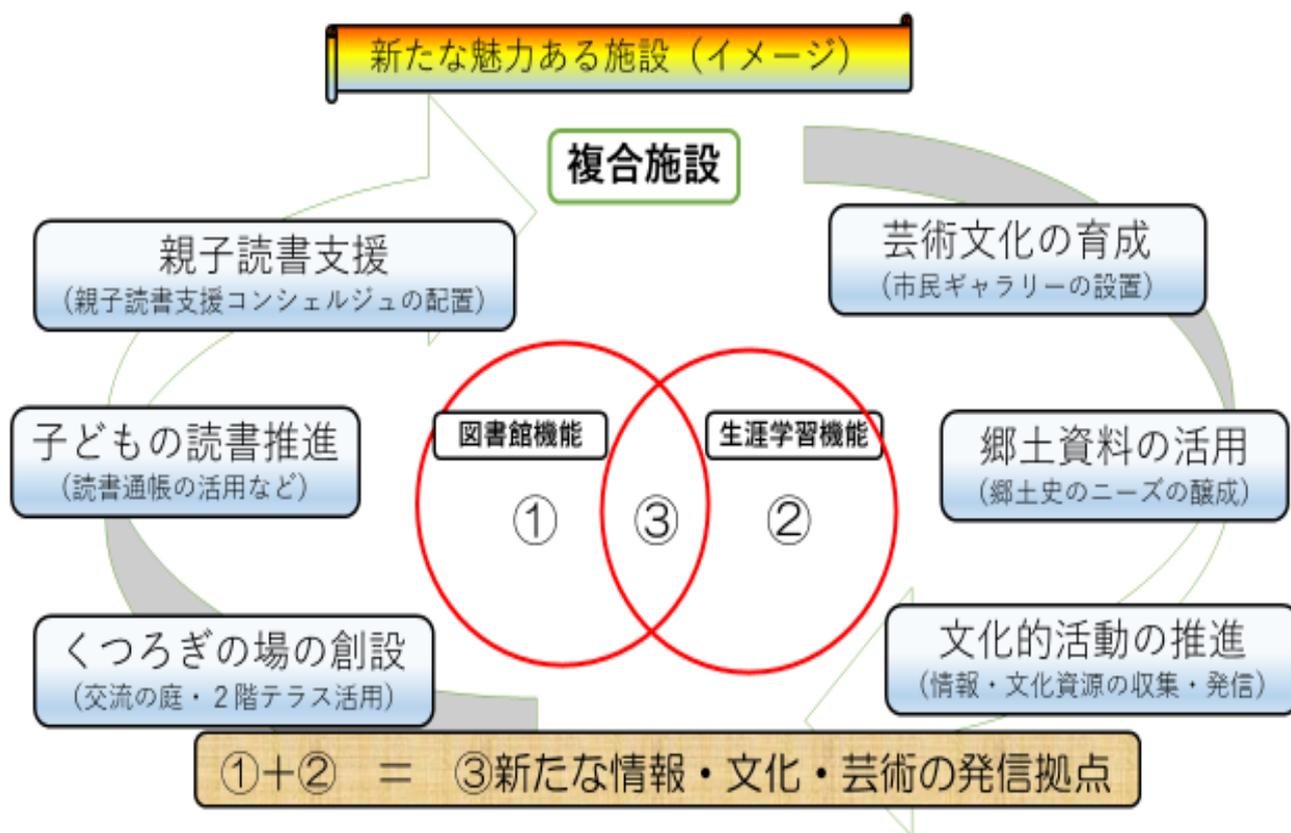
- | | |
|-------------|---------|
| ○図書館機能の充実 | 令和4年 4月 |
| ○生涯学習機能の付加 | 令和4年10月 |
| ○機能をつなぐ場の創設 | 令和4年10月 |



【参考】

＜複合施設とする背景＞

市民の図書館離れが顕著となっており、来館者数や貸出冊数の減少傾向から、図書館の存在が薄れてきています。これらの図書館の課題を解決するために、庁内プロジェクトを立ち上げ、図書館の有効的な活用を図るため市立図書館として在り方の検討を進めてきました。



問合せ先

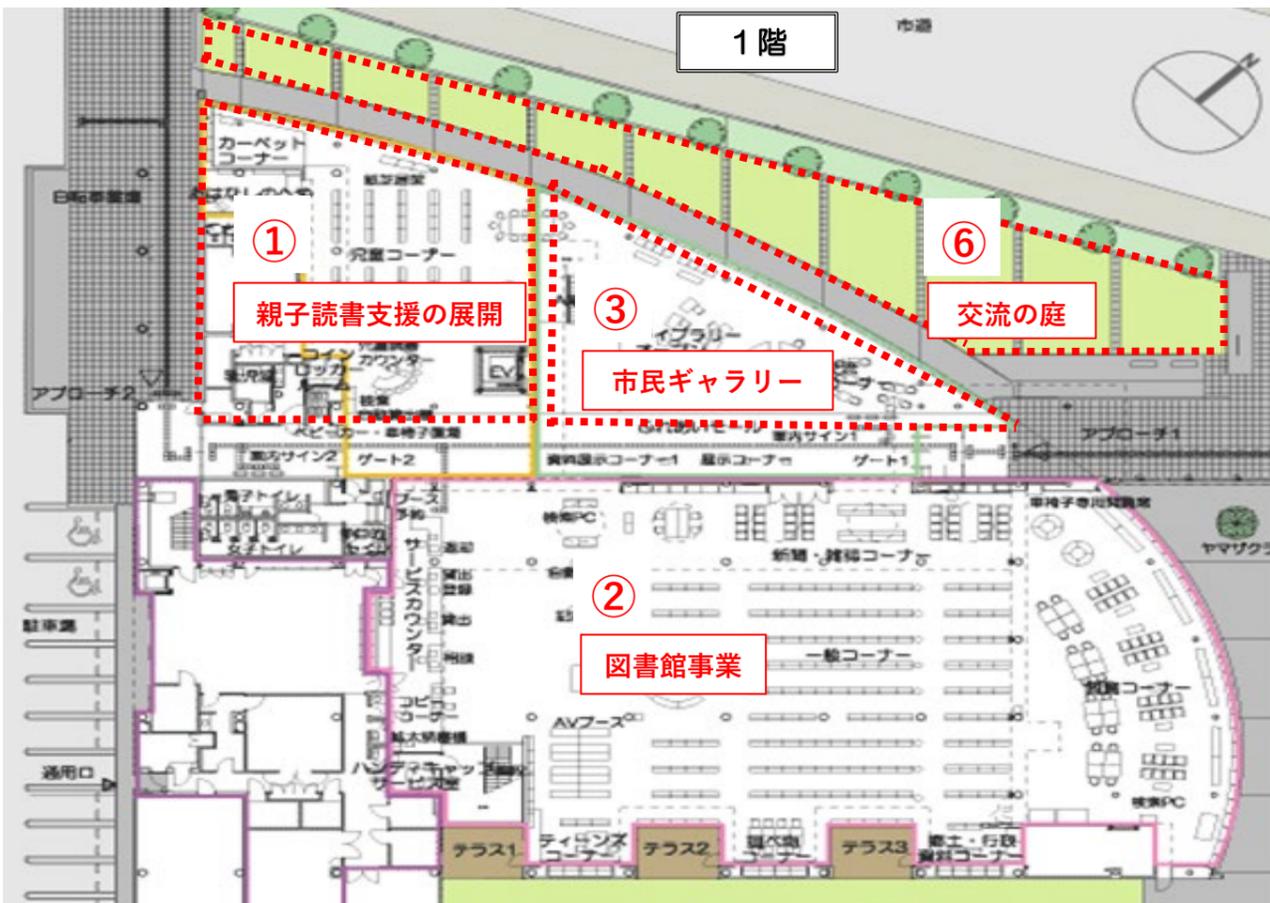
担当 教育部富里市立図書館読書推進班

担当者 越川、武藤

電話 0476-90-4646【直通】

FAX 0476-90-4645





図書館機能の充実

①親子読書支援の展開

- ・親子読書支援コンシェルジュを配置し、保護者の読書支援や乳幼児期から本に親しむ機会を創出する。

②図書館事業

○読書通帳の活用

- ・通帳にスタンプを押印し知識の積立てをすることで、読書意欲の向上を図る。

○読書機会の提供

- ・学校と連携を強化し、貸出図書の拡大を図る。
- ・時事などを取り上げた本を展示し読書意欲を高める。

○魅力ある講座やイベント

- ・魅力ある講座を行い読書意欲や利用促進を促す。

○新たな情報発信

- ・ユーチューブチャンネルやデジタルサイネージの活用により積極的な情報発信を行う。

機能をつなぐ場の創設

⑥交流の庭の活用

- ・気軽に立寄り飲食可能な場を創設する。

⑦テラスの活用

- ・芸術作品や郷土資料の見学の合間に飲食可能な場を創設する。

生涯学習機能（文化・芸術）の付加

③市民ギャラリー

- ・市民ギャラリーを設置し、次世代を担う芸術家等の作品展示や美術館との連携などにより、芸術作品と直接触れ合う機会を創出する。

○美術館との連携

- ・名画と気軽に触れ合う機会を創出し、市民の知識と教養の向上を図る。

④AVホールの活用

- ・各種講演会の強化だけでなく、研修会やワークショップなど利用の推進を図り活用を進めていく。

⑤郷土資料展示スペースの拡大

- ・郷土資料の企画展示などの開催場所として利用を図りながら文化資源の活用を進めていく。